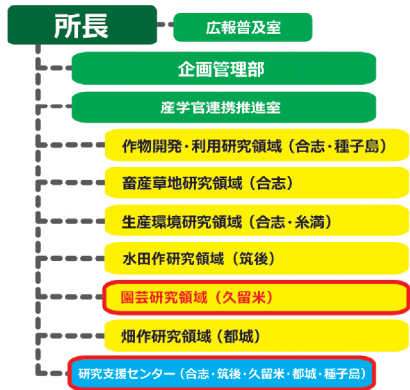


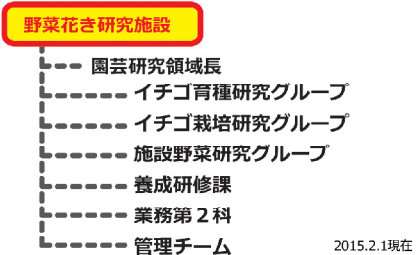


## 組織

●九州沖縄農業研究センターの組織体制



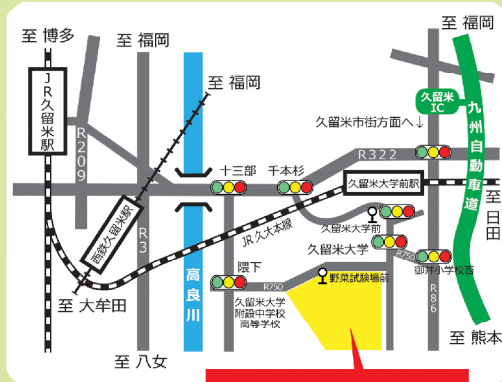
●筑後・久留米研究拠点 野菜花き研究施設の組織体制



2015.2.1現在

## アクセス

- 電車  
JR久大本線 久留米大学前駅下車 徒歩10分
- バス(JR久留米駅・西鉄久留米駅から共に)  
西鉄バス路線番号2「信愛女学院行き」  
「野菜試験場前」下車 すぐ  
西鉄バス路線番号1・9・40・45「信愛女学院行き」  
「久留米大学前」下車 徒歩10分
- 自動車  
九州自動車道 久留米ICから約5分



九州沖縄農業研究センター  
筑後・久留米研究拠点  
野菜花き研究施設

国立研究開発法人  
農業・食品産業技術総合研究機構  
九州沖縄農業研究センター  
筑後・久留米拠点  
野菜花き研究施設

〒839-8503  
福岡県久留米市御井町1823-1  
TEL 0942-43-8271 FAX 0942-43-7014  
<http://www.naro.affrc.go.jp/karc/>

2014.6企画・編集 2015.2, 2015.4 一部改変/筑後・久留米研究拠点

# 農研機構

九州沖縄農業研究センター  
筑後・久留米研究拠点  
野菜花き研究施設

## 要覧

写真上から、  
おおきみ(平成23年品種登録)  
夏の輝(平成25年品種登録出願)  
さちのか(平成12年品種登録)  
おいこベリー(平成24年品種登録)



## 沿革と概要

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構九州沖縄農業研究センター 筑後・久留米研究拠点 野菜花き研究施設は、暖地および亜熱帯に属する九州沖縄地域における野菜の生産技術等に関する試験研究を行う施設です。  
1947年(昭和22年)に農林省園芸試験場九州支場として設置されたのち、組織の再編・統合などに伴う数度の名称変更を経て、現在に至っています。

- 1947年(昭和22年) 農林省園芸試験場九州支場
- 1950年(昭和25年) 九州農業試験場園芸部
- 1961年(昭和36年) 園芸試験場久留米支場
- 1973年(昭和48年) 園芸試験場と東海近畿農業試験場の再編による野菜試験場と果樹試験場の設立に伴い野菜試験場久留米支場
- 1986年(昭和61年) 野菜・茶業試験場久留米支場
- 2001年(平成13年) 独立行政法人化により農業技術研究機構九州沖縄農業研究センター野菜花き研究部
- 2006年(平成18年) 農業・食品産業技術総合研究機構九州沖縄農業研究センター久留米研究拠点
- 2011年(平成23年) 農業・食品産業技術総合研究機構九州沖縄農業研究センター筑後・久留米研究拠点として発足するとともに植物工場を竣工し、現在に至る

総土地面積: 110,923㎡  
うち試験研究用途: 85,259㎡

# 研究グループと主な研究内容

## イチゴ育種研究グループ



ビタミンCを多く含む品種「おいこベリー」

大規模施設栽培に向けた多収品種、高い抗酸化活性など健康機能に富んだ品種、夏秋どり栽培向け四季成り性品種の育成など、イチゴの高品質化と生産性向上を目指した品種改良および育種技術の開発を行っています。



平均果重20g以上の極大果品種「おおきみ」



植物工場での栽培に適した多収性品種開発



温暖地向け四季成り性品種「夏の輝」



輸送時の果実の傷みを軽減する包装容器

## イチゴ栽培研究グループ



太陽光利用型植物工場におけるイチゴ生産



クラウン温度制御技術による生産性向上



可動式ベンチを利用した高密度栽培

暖地・温暖地の施設イチゴの生産基盤を強化するために、大規模経営を可能にする周年多収生産システムの開発に取り組んでいます。



無病虫苗を作る蒸熱処理技術

太陽光利用型植物工場での促成栽培および夏秋どり栽培において、化学農薬を使用しない蒸熱処理による苗の病害虫防除技術、効率的な複合環境制御技術、養液管理技術および局所環境制御技術の開発を行っています。



## 施設野菜研究グループ



光源とリーフレタスを近づけた多段式生産



付加価値の高いスプラウトの生産



植物工場における高度な環境制御

また、アスパラガスの端境期の解消や加工・業務需要に対応したレタスの生産技術を開発し、地域で生産される野菜のブランド力向上に貢献したいと考えています。

九州沖縄地域の温暖な気象条件に対応した野菜の高収益・安定生産技術の開発に取り組んでいます。

完全人工光型植物工場を利用したレタスやスプラウトの低コスト・高付加価値生産技術を開発し、定時・定量・定品質・定価格の野菜生産の実現を目指しています。



加工・業務用結球レタスの安定生産



ポット養成株によるアスパラガスの端境期生産



### 農業技術研修制度

農業（野菜生産）を学びたい人、園芸の新しい技術や知識を身につけたい人などが九州沖縄農研の研究者とともに2年間研修を行い、試験研究の課題解決の遂行に関与しながら技術を体得する制度です。最先端の「太陽光利用型植物工場」や「完全人工光型植物工場」の施設を活用した研修も行っています。

### 技術講習制度

試験研究機関等の職員のほか、農業・食品産業・農機具の改良に関する研究や業務に従事しているあるいはよつとする国内外の者を対象に、短期の講習制度も設けています。

お問い合わせ先：養成研修課 TEL: 0942-43-8314  
FAX: 0942-43-7014

